

観光案内人便り

くにたち散歩 歴史探求 文化財巡り

国立の文化財を散策する

10月31日、東京都の文化財巡りに合わせて、国立の文化財巡りを企画、13名の参加で催行された。秋の気持ち良い青空の下、国立に保存されている3か所の国指定重要文化財と2か所の国登録有形文化財を見て回った。市外からも半数近くの人が参加してくれ、国立の隠れた名所を楽しんで載けた。



下は今日のガイドさんと事務局の打ち合わせと事務局の打ち合わせ左は皆さんに配ったガイドマップ



上は谷保駅南公園の集合場所に三々五々、国立近郊からも参加いただき受付を済ませ事前勉強しながら待っている。



右は谷保天神の鳥居
左はコロナで閉館中の宝物殿が久し振りに開館して戴いた。相変わらぬ木造獅子狛犬と木造の扁額



上は集合後早速本日の行程説明、特に文化財と言うこともあり、丁寧な説明だった。左下は現在改修中の「本田家」薬医門の前での説明。ちょっと残念！

国立観光案内人・行動記録

第156号

2022.10.31

文化財巡り

下右側は「城山」室町時代に三田氏が県主として実在、現在木々に覆われ、春には「二輪草」夏には「キツネノカミソリ」が群生している自然豊かな地。下左側は「くにたち郷土文化館」入口 国立の歴史や文化が解る。重要文化財「石棒」が保管されている。



郷土館の学芸員の方に国立の歴史の説明を受ける。取り分け最近発掘された石棒については皆さん興味を持って耳を傾けていた。



谷保天満宮から城山に向かう途中、左側に「府中用水」が流れる。疎水百選に選ばれ、開渠の用水は現在の東京では珍しい。昔、稲作の為に作られ、この近辺、セヶ村組合用水と呼ばれた。

編集後記
10月に二回目のガイドツアー。コロナ騒動で開かれてなかった谷保天満宮の宝物殿や滝乃川学園を見学できた。この「国立文化財巡り」に参加された皆さんも十分堪能いただけたものと思う。(河本記)



秋晴れに恵まれた文化財巡り最後のご挨拶と御礼。皆さん、今日の思い出を胸に解散していきました。



(上) 滝乃川学園の学園門(右) 聖三礼拝堂入口(左) その内部の天井は高く十字架模様になっている。左側に天使のピアノがあり未だ演奏が出来る

